

第4回定例会で一般質問、補正予算で質疑を行いました。

■子ども議会について

平成19年から始まり今年で4回目

小学5年生～中学3年生までの生徒が、11月16日に旭川市議会の議場にて、議員と同じように市へ質問を行いました。

＜現在の開催状況＞

- ・4年に1度の開催
- ・毎回20名前後の参加

＜参加した子どもの感想＞

- 「とても良い経験になった」
- 「より旭川に興味を持った」

より多くの子どもたちにこういう経験をする機会を！



■市営住宅について

現在の戸数は4893戸

平成30年度は収支で考えるとこの事業で1億7千万の赤字です。市としては住まいの提供なので、赤字では無く、サービスの一環とも言えます。ただ、年々公営住宅債（借金）が増え続けており、現在では73億円近くとなりました。

- ・平成30年度は1億7,499万円の赤字
- ・累積滞納額が2億1,733万円
- ・公営住宅債（借金額）72億7,739万円

このままだと今後も借金は増えていく

- ※エレベーター点検費用が毎年数千万円。
- ※入居者高齢化により1階希望者が多い。

◆そこで提案◆

コンパクトな木造に変えるとうなる？

＜デメリット＞

- ・土地が必要になる
- ・耐用年数が短い
- ・土地の選定に時間必要

＜メリット＞

- ・建設費は半分ほどに
- ・維持管理費が安い
- ・低層階で提供できる

土地や建物を市が「買う」「借りる」の差もありますが、市の試算としては、木造市営住宅が費用の抑制に繋がるという認識もあります。

以上を踏まえると

特定空家を市が買い取り、木造の市営住宅を建設することで、市営住宅の問題と空き家問題を同時に解決することが可能になる。

今までと同じやり方では借金が増えることが確実。変えていかなければいけません。

■5G・ローカル5Gについて

第5世代の移動通信システム

5Gとは、農業、製造業、医療や自動運転、産業用機械の遠隔操作、VRを活用したスポーツ観戦など様々な分野で活用できるICTインフラ整備に欠かせない最新の通信技術です。ローカル5Gは、それを施設等の内部において独自に整備をするもの。

＜他都市の動き＞

多数の自治体が5Gを利用してその地域の課題を解決するため民間企業との共同実験を行っている

＜旭川市の動き＞

技術については把握してるが現在何かを行う予定は無い

- ・医師不足を遠隔手術で解消
 - ・高精度で安全な自動運転
 - ・製造業の生産ライン高度化
- その他多様な活用が可能

民間事業者の動きに対し、本市としても積極的に接触し、将来の課題解決に活かしてほしいということを要望。電磁波の人体への悪影響についても注意は必要です。

■新庁舎建設に関する補正予算質疑

- ・今回の補正予算額131億7,110万円に対する財源
 - ・今後庁舎建設の費用が増加してしまう可能性
 - ・冬期間工事停止による経費削減の内訳について
- その他補正額についての詳細を質疑致しました。

初年度は自分の得意分野での活動が主でした。今後も一つ一つ理解を深めながら、様々な分野での活動ができるよう、日々精進致します。



旭川市議会議員

しおじり英明



Facebook

市政報告



市議会議員に当選して初めての新年を迎えるところとなりました。自分にできることを一つ一つ取り組んでいるところですが、まだまだ議員としては駆け出しであります。今年度も日々精進を忘れず、できることを増やしていきたいと考えております。本年も皆様のご指導、ご鞭撻をお願い致しまして、昨年度の活動報告をさせていただきます。

初当選から今日までの活動報告

所属会派

民主・市民連合

会派内役職

会計

所属委員会

議会運営委員会

建設公営企業常任委員会

民主・市民連合所属議員

- ・中川 明雄
- ・高見 一典
- ・品田 ときえ
- ・高橋 紀博
- ・江川 あや
- ・白鳥 秀樹
- ・松田 ひろし
- ・高木 ひろたか
- ・宮崎 アカネ
- ・塩尻 英明

※敬称略

■議会運営委員会

議会運営を円滑、効率的に行うために設けられている委員会で、各会派から選出された委員で構成されており、議会の会期、議案、質問の取扱いなどの協議をしています。

■建設公営企業常任委員会

建築、公園緑化、住宅、道路整備、河川整備、上下水道、病院などを所管しています。本年大問題となった除排雪の対策についてもこの委員会にて協議していきます。

旭川市議会 会派構成

- ・民主・市民連合 10名
- ・自民党・市民会議 10名
- ・公明党 5名
- ・日本共産党 4名
- ・無党派G 3名
- ・無所属 2名

議会での主な活動内容

第2回定例会

＜一般質問＞

- ・対日直接投資サポートプログラム
- ・空き家問題
- ・次期清掃工場

＜要望書の提出＞

- ・『農業・農村を守る』（会派としての要望書提出）

第3回定例会

＜決算分科会質疑＞

- ・除排雪
- ・住宅前道路除雪
- ・公園管理
- ・市営住宅
- ・保育士確保事業
- ・合葬墓
- ・縁結びネットワーク
- ・生活保護

第4回定例会

＜一般質問＞

- ・子ども議会
- ・市営住宅
- ・5G整備

＜補正予算等特別委員会質疑＞

- ・新庁舎建設事業

※昨年度の活動内容です。議会で取り上げてから既に動き出している事業もあります。

第 2 回定例会で一般質問を行いました。

■対日直接投資サポートプログラムについて

対日直接投資サポートプログラムは経済産業省と独立行政法人ジェトロが支援をする事業で、2018 年 10 月に国内で 24 自治体等のみを指定し事業を開始しました。この事業に旭川市も含まれています。この事業開始に伴い、世界各国に拠点を置くジェトロを通じ、世界に向けて企業誘致を進めていくこととなりますが…。

Q. どんな事業なの？

A. 国際的な企業誘致です

Q. 地元企業への影響は？

A. 悪影響の無い企業を誘致したい

ユネスコ創造都市ネットワークに加盟認定され、今後益々世界的に注目される都市に！

＜市への要望・提言＞
**地元企業と競合する誘致はダメ！
企業誘致と同時に観光PRも！**

旭川市に無い産業や、市内の企業と共同で商品を開発するような企業を誘致したいとのことでした

■空き家問題について

早急に対応が必要な倒壊の危険性がある家屋は 47 件
冬期間の放置による軽微な危険も含めると 693 件

＜現状と今後の懸念＞

- ・今までの行政による対処は 2 件のみ
- ・今後更に増加していくことが予想されている
- ・行政にできる範囲も予算も限られている
- ・民間団体等と解決に向けた連携協定を締結したが…



写真は永山の空き家

＜協定は結んだけど情報共有ができていない！＞

Q. 協定先から情報が少なすぎるという意見がある

A. 個人情報の問題、公務員法などの制限がある

Q. 法律に抵触しない範囲は提供すべきでは？

A. 今後検討しながら進めていきたい

現在、所有者の承諾を得た場合のみですが、協定先へ情報提供を行い、解決に向けて動き出しています。いずれにしても、まだまだ課題は残っています。

＜市への要望・提言＞
**情報共有を密に行い
問題解決に向けた積極的な対応を！**

■次期清掃工場について

次期清掃工場でココが変わる！

- ・有害物質発生を抑制
- ・発電量の大幅上昇

だがしかし…

北電の送電力不足により電力の有効利用は不可能。
発生熱や発電した電力が無駄になってしまう可能性も！

耐用年数の経過に伴い、近文のリサイクルプラザが東旭川へ移転するとともに、近文清掃工場が同位置に建替えをすることとなっています。

＜市への要望・提言＞

- ・電力の平時有効利用と非常時供給機能を！
- ・発生熱で隣接の雪堆積場に融雪機能を！

発生熱や発電を利用し、隣接している雪堆積場の融雪を行うなど、有効活用に向けた取組みが必要です。

第 3 回定例会では決算審査特別委員会にて質疑を行いました。

所管～民生建設公営企業分科会（民生＋建設公営企業）

質疑人数に応じて個人及び会派に時間配分がされます。同会派の先輩議員の厚意により時間をいただきまして、今回は 2 時間半ほどにわたり質疑を行いました。

※決算審査特別委員会
前年度の決算についての審査を行う委員会。旭川市は 2 つの分科会に分かれて行う。

■除排雪について（住宅前道路除雪含む）

近年の状況を繰り返していかないためにも、今後の除排雪体制や取組方針、対策について質疑を行いました。降雪状況が変動しているなかで、今後の安定した除排雪を確保するためにはどうすべきか。問題解決に至る明確な案が無い中、一つずつ解決していかなければなりません。

短期的にできる問題解決と、長期的に考えるべき問題解決を両方同時に行わなければなりません。まずは令和元年度の除排雪がしっかりと行われるよう、注視して参ります。

1 億 9 千万円の減
雪堆積場が全体的に
1Km 近くなった場合
の排雪費の削減額

融雪機能の活用
将来的には第 2 回定
例会で質問したよう
な融雪施設が必要

排雪の効率アップ&融雪で場所の問題解決を

■市営住宅について

「家賃収入によって黒字」という市の見解でしたが、公債償還（借金返済）を含めた際に赤字になることを指摘。

- ・平成 30 年度は 1 億 7,499 万円の赤字
- ・累積滞納額が 2 億 1,733 万円
- ・公営住宅債（借金額）72 億 7,739 万円

次回第 4 回定例会で今後の在り方を提案

■保育士確保事業について

- ・保育士資格支援事業～30 年度は 1 名のみ
- ・保育士宿舎借上げ事業～想定 1/3 程度

事業開始から間もないこともあり、制度利用者が想定よりも大幅に少ない状況です。現状を把握し、よりよい子育て環境を整えていきたいところです。

■縁結びネットワークについて

少子化のなか、全国的に出生率は実はあまり減っていない、既婚女性の数が減っていることが主な原因と言われています。

旭川市はカップル成立後の婚姻状況や
市内在住状況を把握していない。

結婚に興味はあるけど機会が無いという男女にとっては、人生のパートナーを探し出せる縁結びは貴重な機会。

調査・分析を行い今後活かすべき

■公園管理について

- ・使用禁止遊具～43 基
- ・その他経年劣化の著しい遊具が多数存在
- ・フェンスの修繕は 23 件中現在までに 9 件

今後も修繕の必要な施設は増加していく。しっかりとした管理体制とともに、フェンスは修繕の際に交差点や道路の雪出しに利用しやすい工夫を要望しました。

■合葬墓について

- ・当初～200 体 × 50 年 = 1 万体の納骨
- ・現状～約 1 年で 1,380 体の納骨

全国的に墓じまいが進むなか、50 年間 1 万体の納骨を想定した事業ですが、このままだと 8 年目には納骨不可能に！

ニーズに合致した事業ではあるが…

市『増設も含めて状況を見ながら検討する』

■生活保護について

- ・受給者数は減少⇒自立支援事業の効果
- ・不正による停止が 30 年度で 24 件

自立を支援することで、効果は出ているものの、不正が未だに無くなりません。本当に必要な世帯への支援を今後も継続していくためにも、不正に対する厳格な対応を求めました。